

評価対象種の基本的条件

哺乳類の評価対象種の基本的条件

- ・分類上亜種に細分される場合は原則として亜種を評価の対象とする。
- ・純海産種は対象外だが、主に浅海域に依存するジュゴンを対象とする。
- ・海外から導入された種及び他地域から導入された種は対象から除く。

汽水・淡水魚類の評価対象種の基本的条件

- ・分類上亜種に細分される場合は原則として亜種を評価の対象とする。なお、学名を伴わなくとも、実体が1分類群として論文等により明確に定義付けられている場合は評価の対象とする。また、亜種レベルに満たないグループ、種内変異であるサツキマス、イワメ等、亜種名が存在しても分類上の議論がある種は、単独での選定評価は行わない。
- ・淡水河川・湖沼から汽水域に生息する魚類を対象とする。海産魚類は対象外。
- ・海外から導入された種及び他地域から導入された種は対象から除く。ただし、導入かどうかの判断が困難な場合は対象とする(例：タウナギ、タイワンキンギョ)。

昆虫類の評価対象種の基本的条件

- ・種又は亜種が分類学的に未確定のものは原則として対象外。
- ・海外から導入された種及び他地域から導入された種は対象から除く。

貝類の評価対象種の基本的条件

- ・分類学的に未確定のものは原則として対象外。
- ・陸域および淡水域から汽水域に生息する貝類を対象とする。海産種は含めない。
- ・海外から導入された種及び他地域から導入された種は対象から除く。

植物 の評価対象種の基本的条件

- ・種、亜種、変種を対象とする。
分類学上品種にランクされるものは、原則として除外する。
- ・現地調査対象種は、以下のとおりとする。
 - 1) 2000年 RDB に掲載されている CR 種。
 - 2) その他に、つぎの条件を満たすものを日本植物分類学会委員会委員及び各都道府県の主任調査員から推挙していただき、それらを学会委員会で検討し、対象種とする。
- ・分布が特に限られているもの
- ・減少傾向が特に著しいもの

- ・現状が不明だが、調査により現状把握が可能と考えられるもの
- ・資料または現地調査に基づく株数再確認調査対象種
- ・2000年 RDB に掲載されている EN 種、VU 種。

植物 の評価対象種の基本的条件

蘚苔類

評価対象とする単位

種、亜種、変種

対象外となる種

- ・外来種
- ・近年に新種として記載された種（「近年」は5年が目安）
- ・疑問種（日本で記載されたが、長い間再検討されなかった種。分類学的に再検討を要する種。）
- ・一年生の種

評価対象種の条件

- 1) 2000年 RDB 掲載種を対象とする。特に、同 RDB 作成時において、調査が不十分であったと考えられる種。
- 2) 1) に加え、以下も調査対象種とする。
 - ・減少傾向が特に著しいもの
 - ・分布が特に限られているもの
 - ・生葉上苔類やさがりごけ類など、特異な環境に生育するもの
 - ・調査により現状把握が可能と考えられるもの

藻類

評価対象とする単位

種、亜種、変種

対象外となる種

- ・外来種
- ・海の深所産のもの（但し、下記 3) に該当するものは除く。）

評価対象種の条件

- 1) 2000年 RDB 掲載種。特に、以下の条件に合致するものには留意する。
 - ・肉眼で見ることができて同定が比較的容易なもの
 - ・比較的観察しやすい場所に生育しているもの
 - ・過去に調査研究の対象になったことがあるもの
 - ・調査員が直接観察または採集した経験があるもの
 - ・国指定の天然記念物
- 2) 1) に加え、
 - ・過去 30-50 年の生育記録以降、確認情報がなく、その後信頼すべき調査が

- おこなわれていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの
- ・ 地域的に孤立した個体群、県の RDB に掲載されたもの
 - ・ 特殊環境に生息し、その環境の減少が顕著なもの
- 3) 1) および 2) に加え、以下に該当するもの
- ・ 専門家が重要性が高いと判断したその他の淡水藻、海藻。

地衣類

評価対象とする単位

原則として種のレベルの分類群

対象外とする種

- ・ 疑問種（日本から報告された記録はあるが長期間放置されたままで分類学的に再検討を要する種）

評価対象種の条件

- 1) 2000 年 RDB 掲載種は全て再評価する。
- 2) 上記以外で Checklist of Japanese lichens and allied fungi (ed. S. Kurokawa and H. Kashiwadani, 2006) に掲載されている種

菌類

評価対象とする単位

種、亜種、変種（必要に応じて品種）

対象外となる種

- ・ 外来種
- ・ 肉眼的に確認できない種（2000 年 RDB 掲載種を除く）
- ・ 分離培養しないと確認できない種（2000 年 RDB 掲載種を除く）
- ・ 疑問種（国内から記載または記録されたが、長い間再検討されなかった種。分類学的に再検討を要する種。）
- ・ 採集・認識に特別な経験・トレーニングが必要とされ、限定された人しか見いだせない可能性が高い種

評価対象種の条件

- 1) 2000 年 RDB 掲載種を対象とする。
- 2) 1) に加えて、以下の条件を満たすものも対象とする。
 - ・ 肉眼的に認識でき、採集・確認回数または分布地域が著しく限られたもの
 - ・ 肉眼的に認識でき、特定の環境や宿主に強く依存し、なおかつその環境や宿主が既に著しく減少・劣化または今後著しく減少することが予想されるもの